

年次活動実績報告

研究活動報告（設置申請書、継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

- フューチャー・アースが事務局を担う、Earth Commissionのメンバーに代表者の蟹江憲史ラボ・代表が選出され、委員会会合に参加し、インプットを行った。Earth System Governance Project、国連大学、フューチャー・アースとの連携強化につながった。
- 環境経済・政策学会2019年大会地球環境問題の最先端社会科学のセッション「ESGプロジェクトの□□現在地:地球環境ガバナンス研究の最前線と研究アジェンダを□□俯瞰する」にて、「ESGプロジェクト□□第一期10年の実績と今後の展望」と題して、これまでの地球システムガバナンスに関する研究成果について報告を行った。また、今後の展望として、国内のESG研究拠点の形成の必要性についても、今後の展望として報告した。
- 『SDGs実施指針』改定に向けたステークホルダー会議をコーディネートし、実施指針案策定プロセスに参加、成果を政府に提出した。
- ニューヨーク市において、2019年7月、「Business Evaluation × SDG Beyond UNGA2019」、2019年9月に、シンポジウム「Essence for Successful Actions towards Achieving the SDGs」を開催し、日本におけるSDGsの取り組みや、研究成果の国際発信を行なった。また、『SDGs白書2019』を草稿し、2019年9月に、ニューヨーク市で開催したシンポジウムにて発表、2019年10月には出版を実現させた。
- xSDGコンソーシアムを通じて提供された機会として、良品計画との共同研究や楽天との共同研究、が挙げられる。これらの研究成果の発表等を通じて、持続可能な生産消費などの研究分野の研究推進につながった。

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

＜著書（主なもの）＞

特になし

＜論文（主なもの）＞

1. Norichika Kanie, 'Sustainable Development Goals and International Governance Indicators as a Key Mechanism for Success' in Shiro Hori, et al., International Development and the Environment, Springer, 2019, pp.17-25
2. Frank Birmann, Michele M Betsill, Sarah Burch, John Dryzek, Christopher Gordon, Aarti Gupta, Joyeeta Gupta, Cristina Inoue, Agni Kalfagianni, Norichika Kanie, Lennart Olsson, Åsa Persson, Heike Schroeder, Michelle Scobie, "The Earth System Governance Project as a network organization: a critical assessment after ten years", Current Opinon in Environmental Sustainability, Volume 39, August 2019, pp.17-23
3. Norichika Kanie, David Griggs, Oran Young, Steve Waddell, Paul Shrivastava, Peter M. Haas, Wendy Broadgate, Owen Gaffney and Csaba Körösi, "Rules to goals: emergence of new governance strategies for sustainable development", Sustainanability Science, Volume 14, Issue 6, November 2019, pp.1745-1749
4. Mitsuru Kawamoto and Norichika Kanie, 'Engaging Business: The UN Sustainable Development Goals and Climate Change,' in Shiro Hori et.al. (eds.), "International Development and the Environment: Social consensus and cooperative measures for sustainability," Springer, 2019, pp. 47-54.
5. Mitsuru Kawamoto, 'Global Environmental Treaty Regimes as Balancer between Environmental Conservation and Economic Growth: Facilitating Effective Implementations of Global Environmental Treaty Regimes,' in Shiro Hori et.al. (eds.), "International Development and the Environment: Social consensus and cooperative measures for sustainability," Springer, 2019, pp. 81-89.
6. 川本充「SDGsとビジネス—良品計画の優良事例化の試み—」『Keio SFC Journal』 Vol.19, No.1, 2019 September, pp.108-126.

＜レポート・報告書（主なもの）＞

7. 慶應義塾大学SFC研究所xSDG・ラボ及びxSDGコンソーシアム『xSDGラボ・コンソーシアム2018年度活動報告書』、慶應義塾大学SFC研究所及びxSDGラボ・xSDGコンソーシアム発行、2019年6月
8. 慶應義塾大学SFC研究所編著『SDGs白書 2019』、インプレスR&D、2019年10月

＜学会発表・研究発表・パネリスト（主なもの）＞

9. 蟹江憲史、「SDGsの本質と日本の現在地」、第41回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム、京都大学吉田キャンパス時計台記念館、2019年7月26日
10. 蟹江憲史、コメンテーター、パネリスト、日本学術会議公開シンポジウム「Earth時代における地球表層システム科学と防災・減災研究」、2019年8月7日
11. 寺田好秀「ふるさと学習におけるSDGs(持続可能な開発目標)を活用した地域事業所の分析-慶應義塾大学と豊岡市立但東中学校の協働を事例として-」地域活性学会第11回研究大会、大村市、2019年9月14日。
12. Norichika Kanie, "Evaluation of a project performance in terms of the SDGs", International Conference on Sustainable Development, Columbia University, New York, September 24, 2019
13. 蟹江憲史・川本充、「Earth System Governanceプロジェクト第一期10年の実績と課題」、環境経済・政策学会、福島大学、2019年9月28日
14. 蟹江憲史、パネリスト、「シンポジウム：SDGs達成に向けた政策志向型研究の展望」、国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）・東京大学・Future Earth日本委員会・国立環境研究所（NIES）主催、国連大学レセプション・ホール、2019年11月1日

15. Norichika Kanie, Panelist, ' Role of Research for Attaining the SDG' , The 17th Korea-Japan Millennium Forum
 "Visions and Actions for Sustainable Society: Roles of Universities in Korea and Japan" , Waseda University, 2019
 年11月27日

16. 寺田好秀「持続可能な開発目標 (SDGs) は、子供が地元の良さを気付く視点になるのか? -ふるさと教育のための『地域SDGsマッピング』の提案-」第16回環境情報科学ポスターセッション, 東京, 2019年11月27日

17. 蟹江憲史、「Future Earth日本サミット分科会 (2) 気候変動と防災・減災」、フューチャーアース日本委員会主催、アキバ
 ブラザ、2019年12月19日

18. Mitsuru Kawamoto, as Panelist, participated in Kyoto University International Workshop on Transdisciplinary
 Approach to Good Governance, presented by Kyoto University Center for South East Asian Studies, 7th and 8th
 of
 February, 2020.

<招待講演・基調講演 (主なもの)>

19. Eva Alisic, Jinghai Li, Michael Barber, Rajae El Aouad, Peter Fritz, Sandy Harrison, Norichika Kanie, Keto
 Elitabu Mshigeni, Francisco Jose Sanchez-Sesma, Robert Scholes, Muhammad Saidam, Improving Scientific Input
 to
 Global Policymaking with a focus on the UN Sustainable Development Goals, IAP(The InterAcademy Partnership)
 Report, May 2019

20. Norichika Kanie, IAP side event, UN Conference Building, New York, 14 May 2019

21. Norichika Kanie, UNESCO side event, UN Conference Building, New York, 14 May 2019

22. 蟹江憲史、「環境特集」、『パナソニック技報 5月号』、2019年5月15日、pp. 40-44
 <<https://www.panasonic.com/jp/ptj/>>

23. Norichika Kanie "Linking cities' sustainable development strategies and SDGs," U20 Mayors Summit,
 Tokyo,
 May 20-22, 2019

24. 蟹江憲史、コーディネーター、パネルディスカッション「ともに築く豊かな消費社会～“つかう”が“つくる”を
 変える
 ～」、『消費者月間シンポジウム』、消費者庁主催、イノホール&カンファレンスセンター、2019年5月27日

25. 蟹江憲史、パネリスト、「サーキュラーエコノミー「資源循環型経済」への躍進」、慶應義大学三田キャンパス、
 2019年6月
 14日

26. 蟹江憲史、基調講演、「SDGsの使命とこれから目指すべき社会とは」、『SDGs実践フォーラム』、国連大学、2019
 年7月11
 日

27. 蟹江憲史、スピーカー、「セッション3：日本政府・企業のSDGへの取り組み～選ばれる企業とは～」、『日経SDGs
 フォーラ
 ム シンポジウム in NY』、2019年7月16日

28. 蟹江憲史、「SDGsの本質と日本の現在地」、『第41回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム』、京都大学吉田
 キャンパ
 ス時計台記念館、2019年7月26日

29. 蟹江憲史、基調講演、「SDGs未来都市横浜で始める健康街づくり」、『日経SDGsフォーラム 特別シンポジウム「SDG
 s未来
 都市・横浜の挑戦」』、2019年8月2日

30. 蟹江憲史、特別講演、「金融×SDG:SDGsの求めるものと×SDGラボの挑戦」、『金融SDGs研究会 第6回定例会 (金融
 SDGs
 研究会主催)』、株式会社野村総合研究所、東京、2019年9月4日

31. 蟹江憲史、「気候危機とSDGs-女性や社会的弱者が取り残されない世界の実現へ向けて」『気候危機とSDGs (聖心女子
 大学グ
 ローバル共生研究所主催)』、聖心女子大学、2019年11月12日

32. 蟹江憲史、「SDGsの現状とこれから～紐づけから行動の10年へ～」、『シティ・ESGカンファレンス～ESG・テーマか
 ら経営
 戦略へ～』、シティグループ・ジャパン東京ルーム、大手町パークビル、2019年11月13日

33. Norichika Kanie, Panelist, ' Role of Research for Attaining the SDG' , "The 17th Korea-Japan Millennium
 Forum
 'Visions and Actions for Sustainable Society: Roles of Universities in Korea and Japan' " , Waseda
 University,
 2019年11月27日

34. 蟹江憲史、基調講演、『世界連邦日本国会委員会創立70周年記念～SDGs推進大会 in Tokyo 2019～ (世界連邦日本国
 会委員
 会主催)』、衆議院第一議員会館・国際会場、2019年11月27日

35. 蟹江憲史、基調講演、「SDGsと日本～行動の10年へ向けて～」、『日経SDGsフォーラムシンポジウム (日本経済新聞
 社/日
 経BP主催)』、東京ビッグサイト国際会議場、2019年12月5日